

令和6年度 第1回 病院・医療関連職域管理栄養士・ 栄養士育成のための地区リーダー 情報交換会 報告

開催日：令和6年8月24日(土) 9時～13時
会場：大阪府栄養士会事務局 (Webと併催)
出席者数：27名

1. 報告事項

第1回、第2回医療事業推進委員会報告

・7月27日開催予定の同職種間連携セミナー
についての集客状況について

日本栄養士会主催開催で行った後、都道府県主体でセミナーの展開をしていただきたい

・コンサルテーションサロンについて

今年度は2回予定で1回目は11月16日に診療報酬改定をテーマにおこなう。2回目は来年1月28日にニューカマーミーティングを行う予定

・栄養部門マネジメントワーキングについて

管理栄養士・栄養士の管理者教育を人材育成部と協同して、まずは来年度中にマニュアルの完成に向けて取り組んでいく

・栄養ケアプロセスワーキングについて

PESコードについてコードの過不足を精査している。今年度大阪府でおこなわれる栄養改善学会で栄養ケアプロセスとGLIM基準について講演予定

・全国栄養部門実態調査について

回収率の目標を50%以上としている(50%以上ないと調査の信憑性に欠けるため)

締め切り期日を7月末から8月23日へ延長した

・地区リーダー情報交換会について

昨年までの地区リーダー研修会は医療職域しかしていないことや予算の都合上、今年度より地区リーダー情報交換会となった。全国リーダー研修会についても同様のことが日本栄養士会内で議論され、来年度はWeb開催となった

・その他

食事療法学会については来年3月8日に実施予定。日本栄養士会雑誌の活動最前線2025年3月は医療部会が担当し関東甲信越で担当していただく

2. 協議事項(統一議題について)

以下4つの統一議題について協議が行われた

1) 令和2年度策定の医療職域・病院管理栄養士ビジョンの概念図の項目において追加もしくは削除すべき項目について

・病棟管理栄養士は栄養管理の実施を栄養管理の充実に変更してはどうか

・医師・看護師の業務負担軽減は医師・看護師業務のタスクシェアに変更してはどうか

・教育・研修の中に日本栄養士会生涯教育を追加してはどうか

・がん以外の糖尿病、摂食嚥下、腎臓病、在宅の専門管理栄養士を追加してはどうか

・給食部門を統括する管理栄養士を将来、専門管理栄養士として仮称でも追加してはどうか

・栄養部門の運営で管理者教育課程を追加してはどうか

2) 診療報酬改定要望事項について(病棟配置を中心に)

・病棟配置の専従・専任はそれぞれにメリット、デメリットがあり一概にどちらがよいと言えない

・病床数や低栄養リスクのある患者の割合で病棟配置が必須にならないか

・精神科領域でも管理栄養士の病棟配置は必要ではないか

・リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の算定要件が厳しく、算定が困難な病院が多いと考えられることから算定要件緩和をしていただきたい。

・リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の算定に必要な書類が多く、もう少し集約したものにならないか（記録に時間がかかりすぎている）

3)認定管理栄養士、専門管理栄養士の取得者を増やす取り組みについて

・診療報酬の内容に認定及び専門管理栄養士が入ることが取得者増につながるのではないか

・各病院のホームページに認定及び専門管理栄養士のPRをすすめる

・取得率が低い原因について、薬剤師会など他団体と比べて原因分析してはどうか

・学会認定資格の単位数が一部免除になるようなしくみがあればいいと思う

・受験や更新における費用面の負担を減らしてもらえないか

・認定及び専門管理栄養士の日常の業務についてさらなるPRが必要と考える

4)会員増対策（広報活動、会員ニーズの把握、非会員への取り組みについて）

・SNSをもっと活用すべきではないか

・継続会員は会費納入のしくみを簡単にしなないと、継続の意思があっても会費納入がされず会員減少につながる

・学生に対する就職応援セミナーを都道府県単位でも広げていく

・給食管理スペシャリストを増やし、委託側管理栄養士の会員増をはかる

・予算が厳しく研修会開催に影響が出てきているので、web研修会を地区単位で開催し1都道府県の費用を軽くする

・世代別の研修会を増やす。開催方法、内容（講義、演習、グループワークなど）を世代のニーズに合わせる

・会員のみが見られるベンチマーク指標があれば会員益につながるのではないか

（文責 医療 内菌雅史）